

■改築更新

○整備方針

- ・ストックマネジメント計画を定期的に見直し、施設の計画的な改築更新を推進する。
- ・未策定の市町村においては早期の策定を目指す。
- ・「下水道管路の全国特別重点調査」の対象団体においては、損傷リスクが高く、事故発生時に社会的影響が大きい大口径下水道管路の健全性を速やかに確保する。

○指標及び目標値

1. ストックマネジメント計画策定及び公表の推進

計画的な改築更新を行うための第1段階として、ストックマネジメント計画の策定・公表により、「見える化」を図る。

R8当初時点で計画未策定：9市町村

表1 スtockマネジメント計画策定・公表率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
86%	91%	100%

2. 処理場・ポンプ場の機能保全

老朽化に起因する機能停止を防止するため、ストックマネジメント計画に基づき改築更新を行う。

※老朽化に起因する処理場及びポンプ場の水質事故0件を目指す。

表2 処理場・ポンプ場の機能保全

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
1,000‰	1,000‰	1,000‰

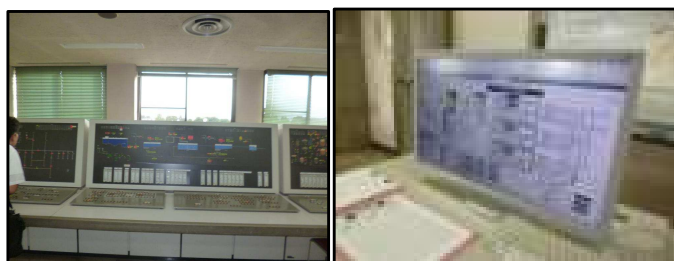
3. 社会的影響が大きい大口径下水道管路の健全性確保

全国特別重点調査において緊急度Ⅰ及びⅡと判定されたスパン延長(km)

※R8.1月現在、調査(判定)中であるため、全国特別重点調査の対象延長：22kmを母数とする。

表3 健全性確保率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	80%	100%



中央監視装置の更新



管更生

■ 浸水対策及び耐水化

○整備方針

(ハード面)

・雨水渠や雨水貯留施設等の施設整備を行い、市街地における内水被害の防止及び軽減を推進する。

・処理場及びポンプ場における浸水対策（耐水化）を推進する。

(ソフト面)

・内水ハザードマップ及びハザードマップ作成に必要となる浸水想定区域図を作成し、地域住民等へリスク情報周知を推進する。

○指標及び目標値

4. 内水浸水被害の防止及び軽減

特に浸水実績地区において雨水渠等の整備を推進する。

計画期間内に整備する面積：92ha

表4 浸水対策完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	77%	100%

5. 下水道施設の耐水機能の確保

水害時の被災リスクの高い下水道施設について、耐水化計画に基づき耐水化工事を行う。

計画期間内に耐水化する施設数：21施設

表5 水害時の揚水機能確保率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	67%	100%

6. 内水ハザードマップ作成・公表の推進

計画期間内に内水ハザードマップの作成・公表を予定している市町村：7市町村

表6 内水ハザードマップ作成・公表率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	57%	100%



内水浸水被害



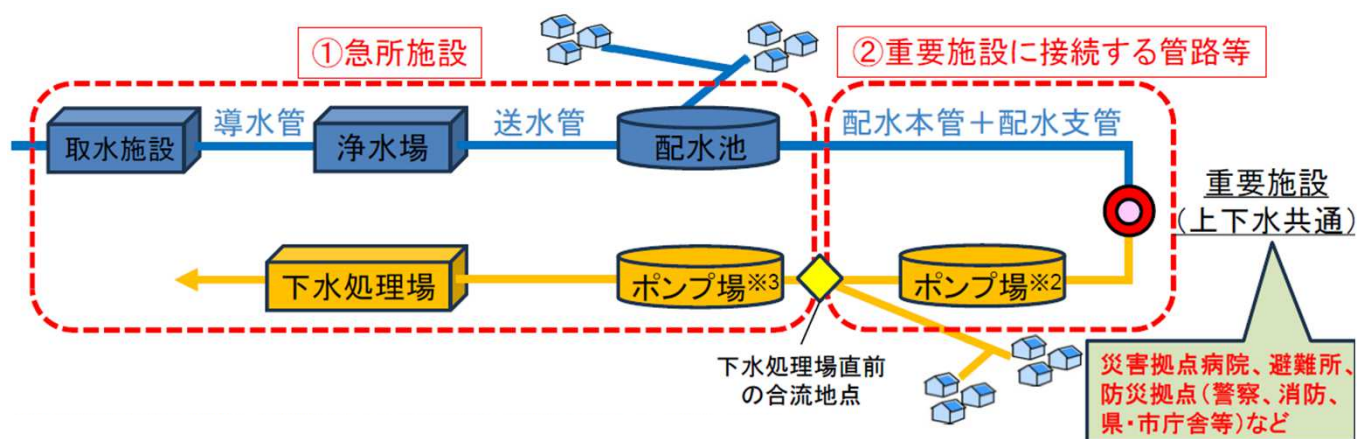
ポンプによる排水

■地震対策

○整備方針

すべての下水道管理者において、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要となる上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等について、上下水道一体で耐震化を推進するため、令和7年1月までに「上下水道耐震化計画」の策定したところ。

策定した上下水道耐震化計画に基づき、下水道システムの耐震化を推進する。



○指標及び目標値

7. 重要施設に接続する下水道管路における耐震機能の確保

計画期間内に耐震化する重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路延長：75km

表7 耐震化完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	60%	100%

8. 重要施設に接続するポンプ場における耐震機能の確保

計画期間内に耐震化する重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場数：4施設

表8 耐震化完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	50%	100%

9. 急所施設に接続する下水道管路における耐震機能の確保

計画期間内に耐震化する下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路延長：6km

表9 耐震化完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	50%	100%

10. 急所施設である下水処理場における耐震機能の確保

計画期間内に耐震化する下水処理場の揚水、沈殿、消毒機能に係る施設数：11施設

表10 耐震化完了率

当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
0%	55%	100%